

フィンランド語文法

第10回



今日の授業

今日は、フィンランド語の特徴的な構文である所有文(AはBを持っている)・存在文(Aという場所にBがある)の格表示について学びます。また、「～しなければならない」という義務を表わす構文も学習します。

今日のポイント

所有文・存在文におけるBは、主格のほか分格で表示されることもあります。使い分けの条件は、前回学んだ目的語の場合と共通しているので、目的語の格表示についてもしっかり復習しておきましょう。

今日の一枚

写真は、シレーン(Johan Sigfrid Sirén)の手になる新古典主義様式の国会議事堂(Eduskuntatalo)です。フィンランドは共和制で、一院制の議会が置かれています。国家元首は大統領ですが、行政は議院内閣制に基づく内閣が担当しています。2008年現在、大統領はハロネン(Tarja Halonen)、首相はヴァンハネン(Matti Vanhanen)です。ハロネンは、フィンランド初の女性大統領です。なお、アハティサーリ(Martti Ahtisaari)前大統領は、2008年にノーベル平和賞を授与されました。